資料２－３

令和６年度
「市民活動や協働によるまちづくりに関する意識調査」
（市政モニター）
報告書

令和７年２月

市民局市民協働推進課

１　調査目的

仙台市では、平成 27 年７月に「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」を施行し、市民活動を行いやすくする環境づくりや、さまざまなまちづくりに携わる団体（地域団体や市民活動団体、学校、企業、行政）等が連携、協力して活動に取り組めるよう、各種事業を進めてきた。今後市民活動や協働によるまちづくりをよりいっそう進めていくために、現状及び課題の把握を目的として調査を実施した。

２　調査対象

令和６年度市政モニター（399 名）

３　調査時期

令和６年 11 月

４　調査実施方法

郵送回収及びインターネットによる無記名式調査

５　回収結果

有効回答数（率）　337 名（84.5%）

６　集計結果の留意事項

・四捨五入を行っているため、回答割合の合計が 100%になっていない設問がある。
・複数の選択肢を選択する問の回答割合は、回答数を有効回答者数（n）で除したものとしている。
・「その他」回答の内容で選択肢に該当するものはまとめている。

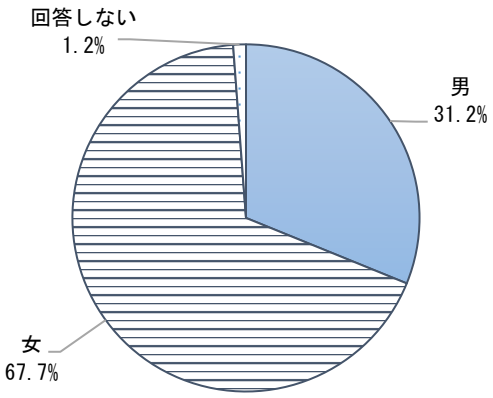
７　調査結果

＜回答者の属性＞

問１　あなたの現在の社会生活上の性別を教えてください。

選択肢	回答数	割合
男	105	31.2%
女	228	67.7%
回答しない	4	1.2%
合計	337	100.0%

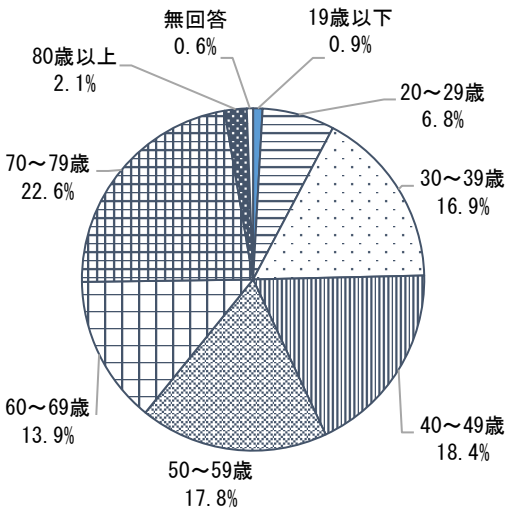
（n＝337）



問２　あなたの年齢を教えてください。

選択肢	回答数	割合
19 歳以下	3	0.9%
20～29 歳	23	6.8%
30～39 歳	57	16.9%
40～49 歳	62	18.4%
50～59 歳	60	17.8%
60～69 歳	47	13.9%
70～79 歳	76	22.6%
80 歳以上	7	2.1%
無回答	2	0.6%
合計	337	100.0%

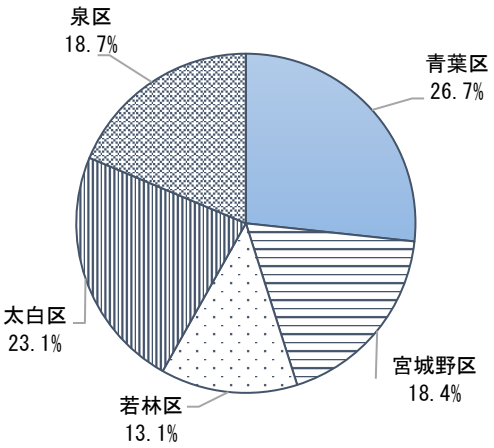
（n＝337）



問３　あなたのお住まいの区を教えてください。

選択肢	回答数	割合
青葉区	90	26.7%
宮城野区	62	18.4%
若林区	44	13.1%
太白区	78	23.1%
泉区	63	18.7%
合計	337	100.0%

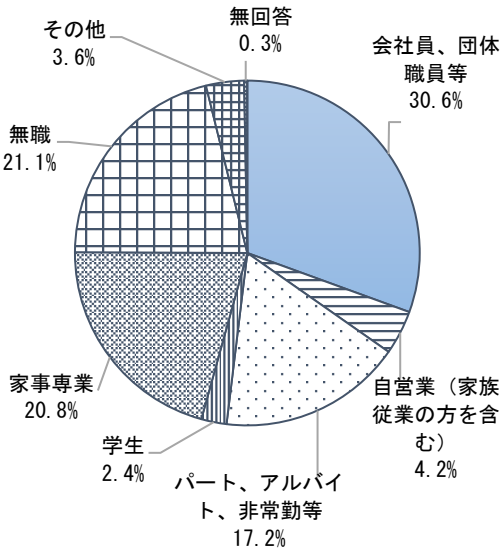
（n＝337）



問４　あなたの職業を教えてください。

選択肢	回答数	割合
会社員、団体職員等	103	30.6%
自営業（家族従業の方を含む）	14	4.2%
パート、アルバイト、非常勤等	58	17.2%
学生	8	2.4%
家事専業	70	20.8%
無職	71	21.1%
その他	12	3.6%
無回答	1	0.3%
合計	337	100.0%

（n＝337）



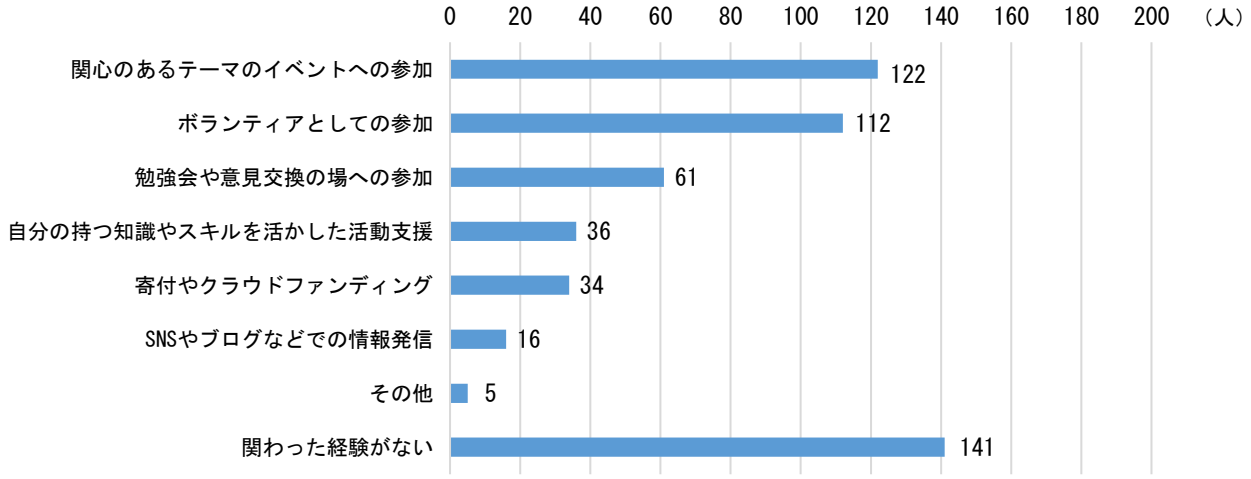
＜設問回答＞

あなた個人と市民活動との関わり（市民活動や、町内会などの地域活動に取り組む団体のメンバーや役員としての関わりを除く）についてお尋ねします。

問５　あなたは、個人として、次のような形で市民活動に関わった経験がありますか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
関心のあるテーマのイベントへの参加	122	36.2%
ボランティアとしての参加	112	33.2%
勉強会や意見交換の場への参加	61	18.1%
自分の持つ知識やスキルを活かした活動支援	36	10.7%
寄付やクラウドファンディング	34	10.1%
SNS やブログなどでの情報発信	16	4.7%
その他	5	1.5%
関わった経験がない	141	41.8%

（n＝337）



「その他」回答の内容

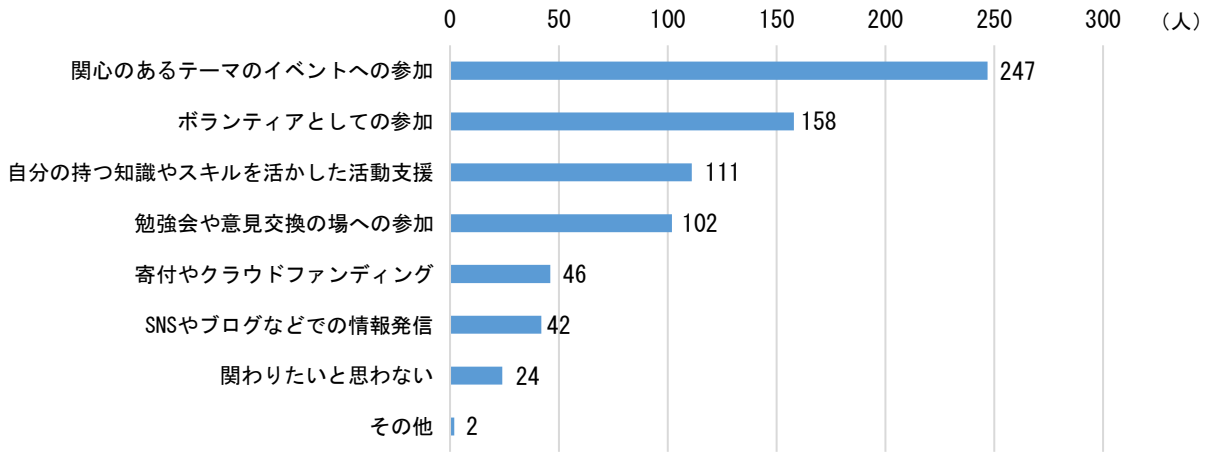
地域清掃　会社で企画、参加　／　社会課題（特にＤＸ）に対するセミナーの企画、実施　／

町内活動　／　ごみ収集場の整理、掃除、草取り等　／　施設への慰問活動

問６　あなたは、個人として、今後、市民活動にどのような形であれば関わりたいと思いますか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
関心のあるテーマのイベントへの参加	247	73.3%
ボランティアとしての参加	158	46.9%
自分の持つ知識やスキルを活かした活動支援	111	32.9%
勉強会や意見交換の場への参加	102	30.3%
寄付やクラウドファンディング	46	13.6%
SNS やブログなどでの情報発信	42	12.5%
関わりたいと思わない	24	7.1%
その他	2	0.6%

（n＝337）



「その他」回答の内容

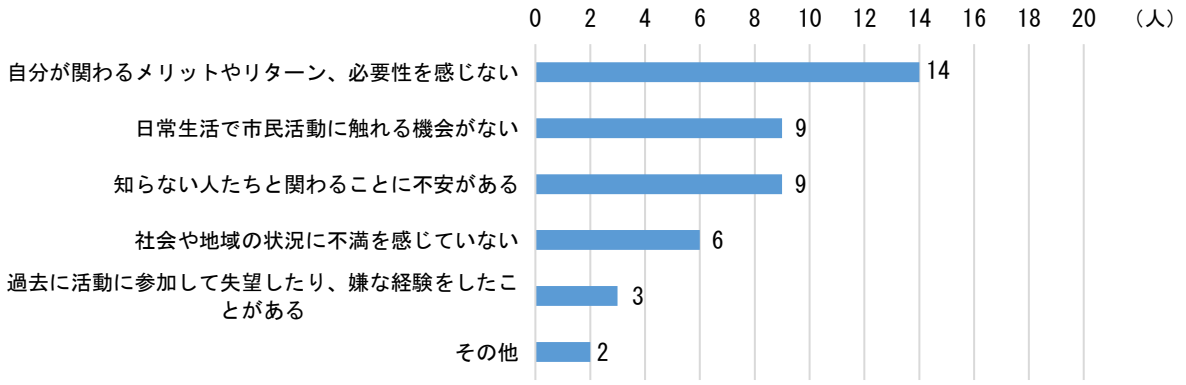
町内会などの地域のつながりは、災害などの非常時にとても役に立つものであることは理解はしていますが、いざ普段からかかわるとなると、時間も拘束されますし、億劫になってしまいます。／

自ら企画、実行する。

問７　問６で「７　関わりたいと思わない」を選択した方に伺います。あなたが、個人として、市民活動に関わりたいと思わない理由は何ですか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
自分が関わるメリットやリターン、必要性を感じない	14	58.3%
日常生活で市民活動に触れる機会がない	9	37.5%
知らない人たちと関わることに不安がある	9	37.5%
社会や地域の状況に不満を感じていない	6	25.0%
過去に活動に参加して失望したり、嫌な経験をしたことがある	3	12.5%
その他	2	8.3%

（n＝24）



「その他」回答の内容

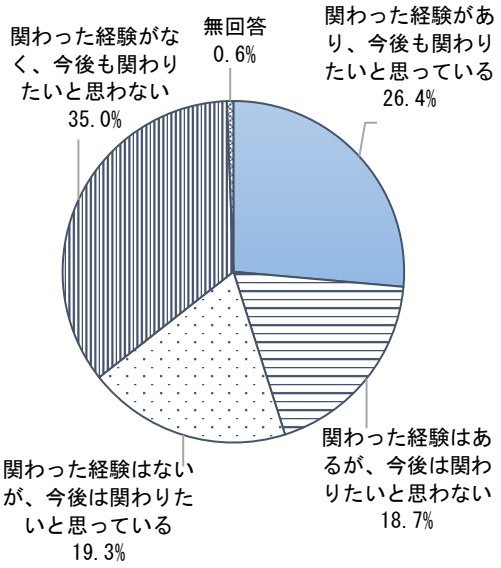
高齢で歩くのも不自由な為　／　仕事、家事、育児で余裕がない。

市民活動や、町内会などの地域活動に取り組む団体（以下、団体という）のメンバーや役員としての関わりについてお尋ねします。

問８　あなたは、メンバーや役員として運営に関わった経験がありますか。複数の団体に所属している場合は、主に関わっている団体についてお答えください。

選択肢	回答数	割合
関わった経験があり、今後も関わりたいと思っている	89	26.4%
関わった経験はあるが、今後は関わりたいと思わない	63	18.7%
関わった経験はないが、今後は関わりたいと思っている	65	19.3%
関わった経験がなく、今後も関わりたいと思わない	118	35.0%
無回答	2	0.6%
合計	337	100.0%

（n＝337）



【参考】令和元年度調査

問６　あなたは、市民活動に参加したことがありますか。該当する番号を１つ選択し、○をつけてください。

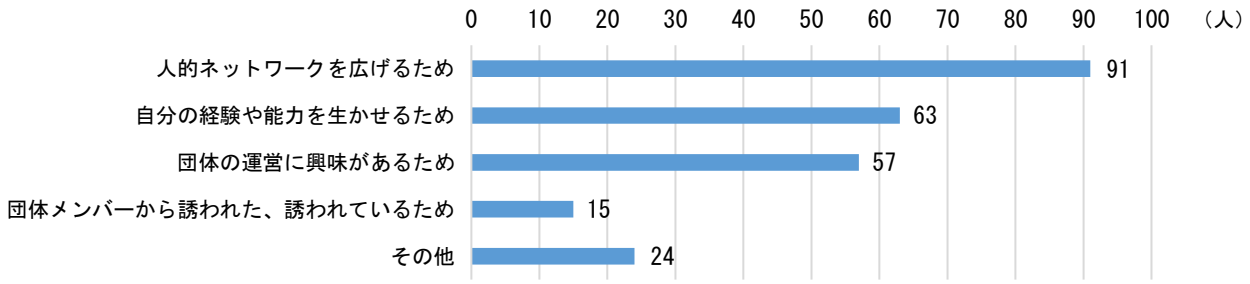
選択肢	回答数	割合
ある	72	38.1%
ない	117	61.9%
合計	189	100.0%

（n＝189）

問９　問８で「１　関わった経験があり、今後も関わりたいと思っている」「２　関わった経験はないが、今後は関わりたいと思っている」を選択した方に伺います。あなたが、メンバーや役員として運営に関わりたい(今後は関わりたい)と思っている理由は何ですか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
人的ネットワークを広げるため	91	59.1%
自分の経験や能力を生かせるため	63	40.9%
団体の運営に興味があるため	57	37.0%
団体メンバーから誘われた、誘われているため	15	9.7%
その他	24	15.6%

（n＝154）



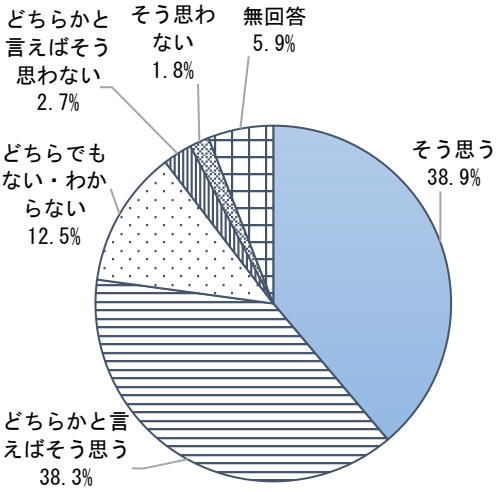
「その他」回答の内容

町内会の活性化　／　地域貢献、社会貢献　／　自分の住んでいる地域に貢献するため　／
町内会が活発であることが望ましいと思うため　／　町内会の役に立てるなら　／　町内会で当番制　／
町内会での活動は最低限必要の為　／　地域に住む者として何かの役に立ちたいと思っている。／
つないでいかないと、今までやってきたものがなくなるから　／
活動の経験を子育て、教育に活かせるのではないかと考える為　／
地域が安全安心で心安らぐ地域にしたい。／　子どもに関わる活動に興味があるので　／
子どもと参加できるもの、緑化関係やゴミ拾いは子どもの教育活動の一環として参加したい　／
自分の子どもの為に、色々な人と関わって人づきあいを広げたいので　／
人の役に立つ事がしたい。／　人を助けたい。／　徳を積みたい。／　趣味を継続させるため　／
意義のある活動に貢献することができると良いなと思うから　／　団体の成功に応援したいから　／
前職で培った経験を活かし、市民団体が取り組んでいない（と思われる）市民ｄＸについて市民の方々に知ってもらい市民自ら行動変容を興すことを考えているから　／　自身の健康維持（運動でボケ防止）　／
ささやかでも人の役に立ちたい、それが認知症予防になるなら尚良い。／
仙台市においてはまだ関わったことがないが、以前居住していた街では 3 か所の団体に関わっていました。自分の力で地域の方々のお役に立て、活性化できることを実感したので、今後も行いたく考えています。

問 10　あなたは、本市のまちづくりにとって、市民活動や地域活動の果たす役割は重要だと思いますか。

選択肢	回答数	割合
そう思う	131	38.9%
どちらかと言えばそう思う	129	38.3%
どちらでもない・わからない	42	12.5%
どちらかと言えばそう思わない	9	2.7%
そう思わない	6	1.8%
無回答	20	5.9%
合計	337	100.0%

（n＝337）



（参考）令和元年度調査

問５　あなたは、本市のまちづくりにとって、市民活動が重要だと思いますか。該当する番号を１つ選択し、○をつけてください。

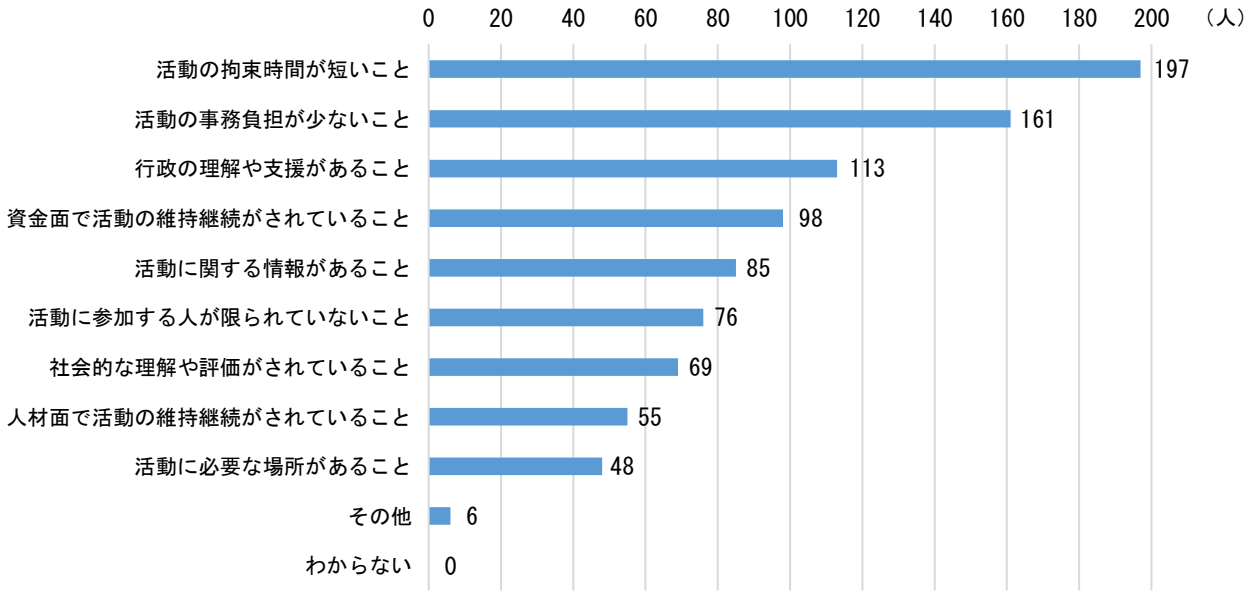
選択肢	回答数	割合
そう思う	86	45.5%
どちらかと言えばそう思う	82	43.4%
どちらでもない	15	7.9%
どちらかと言えばそう思わない	4	2.1%
そう思わない	2	1.1%
無回答	0	0.0%
合計	189	100.0%

（n＝189）

問 11　メンバーや役員として運営に関わる人を増やすために必要なことは何だと思いますか。（３つまで選択可）

選択肢	回答数	割合
活動の拘束時間が短いこと	197	58.5%
活動の事務負担が少ないこと	161	47.8%
行政の理解や支援があること	113	33.5%
資金面で活動の維持継続がされていること	98	29.1%
活動に関する情報があること	85	25.2%
活動に参加する人が限られていないこと	76	22.6%
社会的な理解や評価がされていること	69	20.5%
人材面で活動の維持継続がされていること	55	16.3%
活動に必要な場所があること	48	14.2%
その他	6	1.8%
わからない	0	0.0%

（n＝337）



「その他」回答の内容

自分の興味や趣味が生かせて生きがいを感じること　／　広く周知する事　／

すでに関わっている人の輪が強すぎると敬遠する人が多いと思うので、新たに関わることに対してオープンであることも必要　／

維持継続するための資金援助は欠かせないがやりたいことのテーマに合致しない募集が多いと感じている。／

町内会においては、何十年も昔からのやり方なあまり共働きの現役世帯には負担が多い。（集金、配布物、集合しての役員会等）　／

質問の前提条件として、なぜ増やす必要があるのか不明

【参考】令和元年度調査

問 10　あなたが市民活動を行っているか、または行おうとする場合、どのような支援が必要だと思いますか。該当する番号を３つまで選択し、○をつけてください。

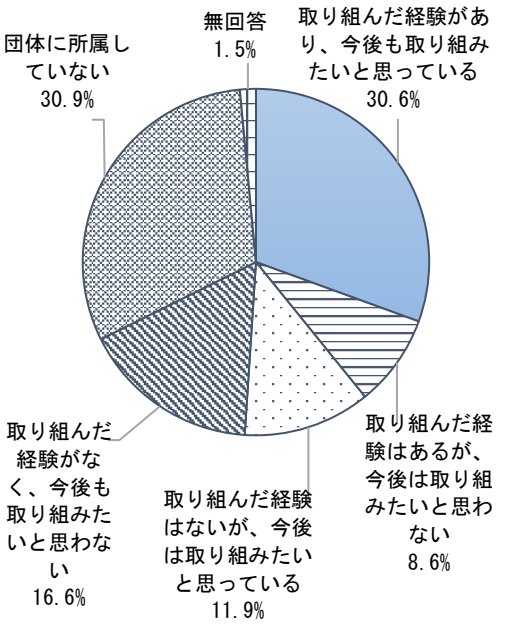
選択肢	回答数	割合
活動に必要な情報の提供	131	69.3%
活動に必要な資金的援助	93	49.2%
活動の場所の提供	80	42.3%
活動に係る人材の育成	70	37.0%
広報面での協力	47	24.9%
団体間のネットワークづくり支援	42	22.2%
政策形成過程への市民参画の機会の提供	41	21.7%
事業の委託	6	3.2%
その他	4	2.1%

（n＝189）

団体同士の協働についてお伺いします。

問 12　あなたが所属している団体（地域団体や市民活動団体、学校、企業）は、他の団体や行政等と連携･協力して取り組んだ経験がありますか。複数の団体に所属している場合は、主に関わっている団体での取り組みについてお答えください。

選択肢	回答数	割合
取り組んだ経験があり、今後も取り組みたいと思っている	103	30.6%
取り組んだ経験はあるが、今後は取り組みたいと思わない	29	8.6%
取り組んだ経験はないが、今後は取り組みたいと思っている	40	11.9%
取り組んだ経験がなく、今後も取り組みたいと思わない	56	16.6%
団体に所属していない	104	30.9%
無回答	5	1.5%
合計	337	100.0%



（n＝337）

【参考】令和元年度調査

問 13　あなたは、地域団体（町内会等）や市民活動団体等の活動で、他の団体（地域団体や市民活動団体、学校、企業、行政等）と連携・協力して取り組んだ経験がありますか。該当する番号を１つ選択し、○をつけてください。

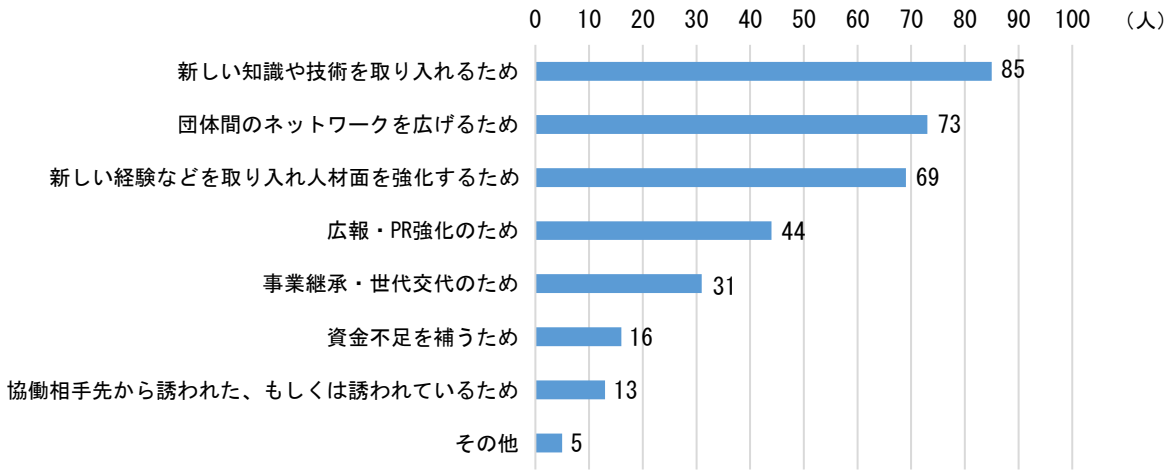
選択肢	回答数	割合
取り組んだ経験がある	53	28.0%
取り組んだ経験はないが、今後取り組みたいと思っている	22	11.6%
取り組んだ経験がない	80	42.3%
普段、地域団体（町内会等）や市民活動団体等で活動していない	34	18.0%
合計	189	100.0%

（n＝189）

問 13　問 12 で「１　取り組んだ経験があり、今後も取り組みたいと思っている」「２　取り組んだ経験はないが、今後は取り組みたいと思っている」を選択した方に伺います。あなたが所属している団体が、他の団体と協働して取り組みたい（今後は取り組みたい）と思っている理由は何ですか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
新しい知識や技術を取り入れるため	85	59.4%
団体間のネットワークを広げるため	73	51.0%
新しい経験などを取り入れ人材面を強化するため	69	48.3%
広報・PR 強化のため	44	30.8%
事業継承・世代交代のため	31	21.7%
資金不足を補うため	16	11.2%
協働相手先から誘われた、もしくは誘われているため	13	9.1%
その他	5	3.5%

（n＝143）



「その他」回答の内容

たぶん、大きな団体として目的を達成するため　／　活動の場が広がりやすいと思われるから　／　他方面への視野の拡大　／

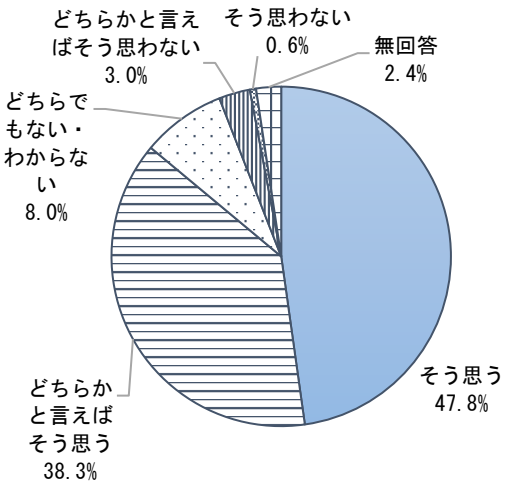
所属している企業は、私が企画など出来る立場ではないため、そのような取り組みがあったら参加したいと思う。／

良いことだと思うが、具体的理由、そこまで考えたことなかった。

問 14　あなたは、本市のまちづくりにとって、地域団体（町内会等）や市民活動団体、学校、企業、行政等が連携・協力して取り組むことは重要だと思いますか。

選択肢	回答数	割合
そう思う	161	47.8%
どちらかと言えばそう思う	129	38.3%
どちらでもない・わからない	27	8.0%
どちらかと言えばそう思わない	10	3.0%
そう思わない	2	0.6%
無回答	8	2.4%
合計	337	100.0%

（n＝337）



【参考】令和元年度調査

問 11　あなたは、本市のまちづくりにとって、地域団体（町内会等）や市民活動団体、学校、企業、行政等が連携・協力して取り組むことが重要だと思いますか。該当する番号を１つ選択し、○をつけてください。

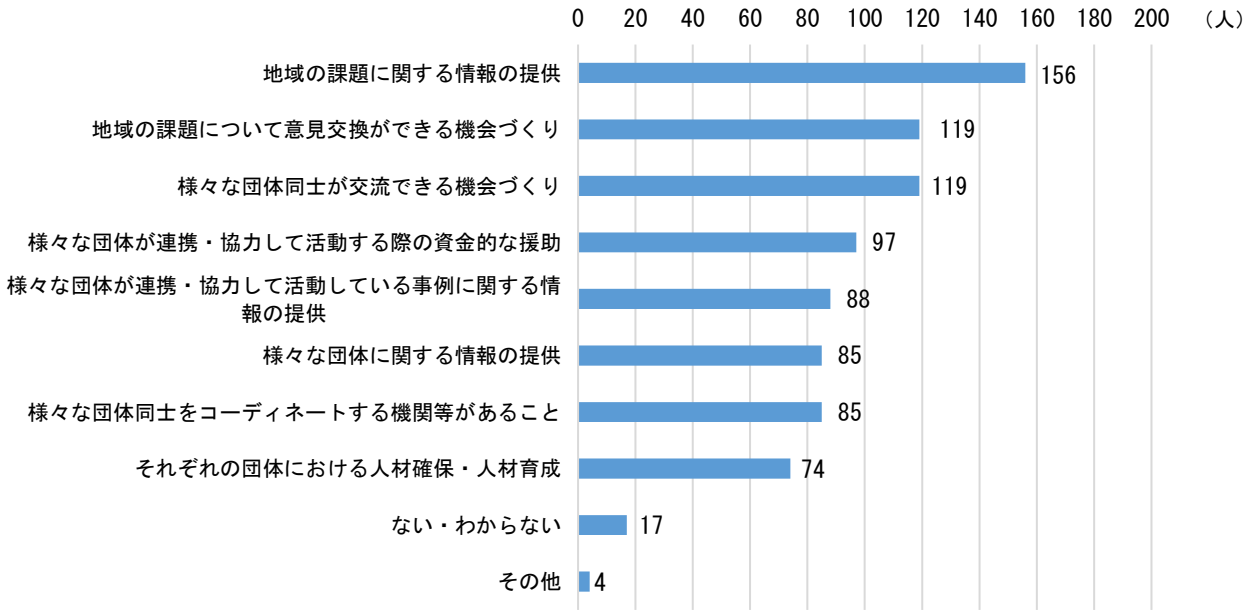
選択肢	回答数	割合
そう思う	102	54.0%
どちらかと言えばそう思う	68	36.0%
どちらでもない	13	6.9%
どちらかと言えばそう思わない	5	2.6%
そう思わない	1	0.5%
合計	189	100.0%

（n＝189）

問 15　地域の課題解決のため、地域団体や市民活動団体、学校、企業、行政等が連携・協力して活動していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（３つまで選択可）

選択肢	回答数	割合
地域の課題に関する情報の提供	156	46.3%
地域の課題について意見交換ができる機会づくり	119	35.3%
様々な団体同士が交流できる機会づくり	119	35.3%
様々な団体が連携・協力して活動する際の資金的な援助	97	28.8%
様々な団体が連携・協力して活動している事例に関する情報の提供	88	26.1%
様々な団体に関する情報の提供	85	25.2%
様々な団体同士をコーディネートする機関等があること	85	25.2%
それぞれの団体における人材確保・人材育成	74	22.0%
ない・わからない	17	5.0%
その他	4	1.2%

（n＝337）



「その他」回答の内容

活動に対する理解　／　メディア、SNS での発信　／

ゆるキャラコンテストみたいな場（市民活動団体等交流会のようなもの）があると交流しやすいと思われる。／

町内会について、役員さんがどのように決定されているかわからない。関わりが全くない。こちらから情報を取りに行かなければならないのはわかるが、活動している方々が積極的に情報発信をしなくちゃダメと思う。回覧板は意味ない。

【参考】令和元年度調査

問 15　あなたは、地域の課題解決のため、さまざまな団体が連携・協力して活動していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。該当する番号を３つまで選択し、○をつけてください。

選択肢	回答数	割合
地域の課題に関する情報の提供	89	47.1%
地域の課題について意見交換ができる機会づくり	75	39.7%
さまざまな活動団体に関する情報の提供	68	36.0%
さまざまな団体同士が交流できる機会づくり	59	31.2%
さまざまな団体が連携・協力して活動している事例に関する情報の提供	58	30.7%
さまざまな団体同士をコーディネートする機関等があること	54	28.6%
さまざまな団体が連携・協力して活動する際の資金的援助	42	22.2%
それぞれの団体における人材確保・人材育成	36	19.0%
よくわからない	17	9.0%
その他	2	1.1%
無回答	1	0.5%

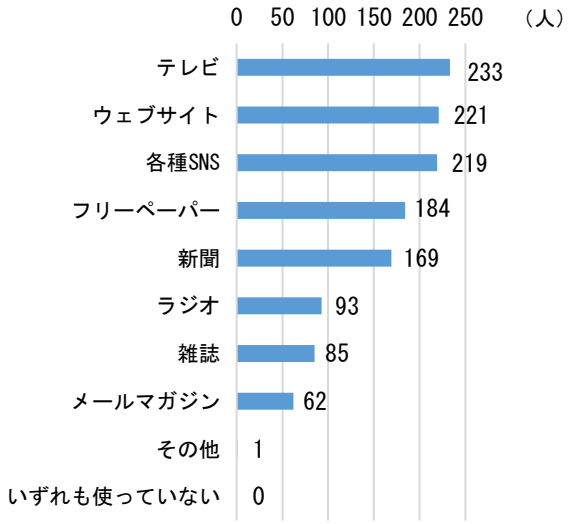
（n＝189）

ふだん利用している情報媒体についてお伺いします。

問 16　あなたは、情報収集のためにどのような媒体を使っていますか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
テレビ	233	69.1%
ウェブサイト	221	65.6%
各種 SNS	219	65.0%
フリーペーパー	184	54.6%
新聞	169	50.1%
ラジオ	93	27.6%
雑誌	85	25.2%
メールマガジン	62	18.4%
その他	1	0.3%
いずれも使っていない	0	0.0%

（n＝337）



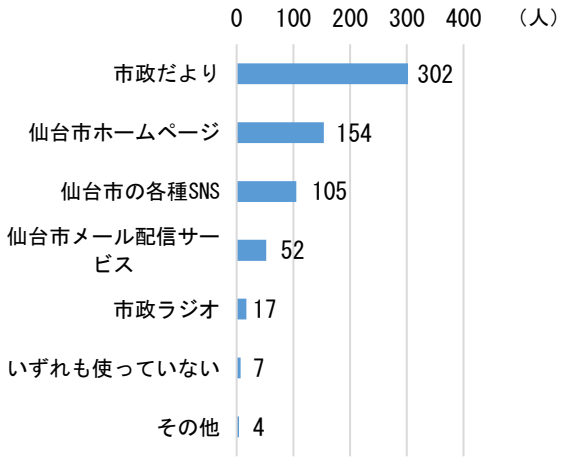
「その他」回答の内容

市政だより

問 17　あなたは、仙台市の情報媒体の中で、どの媒体を使っていますか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
市政だより	302	89.6%
仙台市ホームページ	154	45.7%
仙台市の各種 SNS	105	31.2%
仙台市メール配信サービス	52	15.4%
市政ラジオ	17	5.0%
いずれも使っていない	7	2.1%
その他	4	1.2%

（n＝337）



「その他」回答の内容

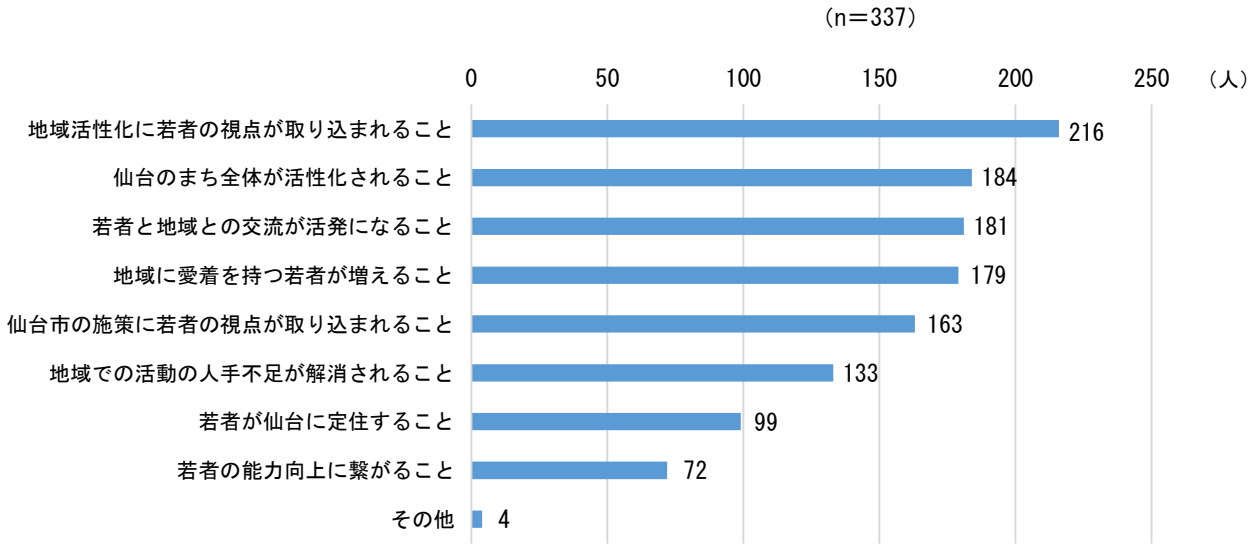
仙台市豊齢学園生ルート　Weekly はほぼ毎週見ている。／　区役所内の配布物　／　とみ～ず　／

リビング仙台

若者によるまちづくりについてお伺いします。

問 18　あなたは、若者が市民活動団体や地域団体（町内会等）の活動に参加することで、どのような効果が生まれることを期待しますか。なお、このアンケートでは、若者とは概ね 10 代後半から 30 代の方を指します。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
地域活性化に若者の視点が取り込まれること	216	64.1%
仙台のまち全体が活性化されること	184	54.6%
若者と地域との交流が活発になること	181	53.7%
地域に愛着を持つ若者が増えること	179	53.1%
仙台市の施策に若者の視点が取り込まれること	163	48.4%
地域での活動の人手不足が解消されること	133	39.5%
若者が仙台に定住すること	99	29.4%
若者の能力向上に繋がること	72	21.4%
その他	4	1.2%



「その他」回答の内容

経済的に豊かになることを期待する。経済的余裕＝心の余裕＝人（他人）に優しい世界になると思う。／若者と高齢者の交流が変革を興すから　／　わからない。／　あまりいいことは起こらないと思われる。

その他のご意見、ご提案についてお伺いします。

問 19　その他、仙台市の市民活動や「協働によるまちづくり」に関するご意見、ご提案がありましたらご記入ください。（回答 122 件）

①個人と市民活動との関わりについてのご意見（40 件）

・もっとどのような市民活動をしているのか、詳しくフリーペーパーに記載するなど区役所に掲示をして、みんなが見えるようにしてほしい。

・どのような活動をしているかなど知る方法が少ないように感じます。若い人たちはもちろん、長年住んでる方でもどんな活動をしてるか、どんな団体があるかわからない人も多いと思います。もっとしれる機会があるといいように感じます。

・市民活動の内容や参加募集をもっと PR 出来る方法を考えてほしい。年代別、スマホの有無、パソコンの有無、市政だよりの配布の有無等、情報の収集が各年代によりかなり異なっていると思います。

・もっと情報媒体を工夫して広く周知するなどした方が良いと思う。拘束時間が長いイメージなどがあるのでそういう部分を払拭出来ると参加しやすいと思う。

・いろんな面での発信が必要かと思います。まずは地域のみなさんに知ってもらいたい、参加してもらう必要があると思います。そして、各年代の知恵やアイデアの収集があれば広がりがみられると考えます。

・年齢のこともあり参加する機会がなくなってきたように感じています。身近に情報があれば参加しやすくなるように思います。

・どんな方がどういう活動をしているか、文字だけではわかりにくかったり、参加するのにハードルが高く感じる。活動の内容や雰囲気がわかる YouTube など動画が見れたら参加しやすくなるかもしれません。

・市民活動について、どのような団体があり、活動をしているのかわからないので、一覧の情報でもあれば良いと思います。（広報または、市のホームページ等で）

・市民活動の宣伝が少ないと思う。まちづくりの参加の方法がわからない。参加をしたいと思っているが。

・現役で活動されている方のお声を聞いたときにとにかく大変でもう辞めたいとおっしゃっていました。何かイベント時に参加者の方よりもスタッフ陣が少ないのだと考えます。そうは言っても役員となると皆なかなかやりたがらないですよね。町内会の掲示板が使われていないのを目にします。貼るのは大変だとは思いますが、それをもっと活かしてもいいと思います。すでにあったら恐縮ですが、もし新たに掲示板を作るのであれば、公園にあるといいのでは、と思います。文字だけだと人の注目を引かないので、大きな目立つイラストがあるといいと思います。せっかくあんなにかわいいむすび丸がいることですし。（それかイラストや）

・情報を多く発信し参加出来る機会を増す。そのためには相手の意見を取り入れ企画を考える。

・地域に貢献したいとは思うがどのような活動があるのか学校や企業に所属していないと情報が得にくいと思う。団体に所属していない人も単発で気軽に参加出来るようなものがあれば活動への理解も深まると思う。

・市民活動をするにあたり、どうしたら参加できるのか。一部の人の運営で行われている感があり、オープンではないため、協力できることがあっても、できていないことがあるのではないかと思う。（私だけでなく）

・個人として市民活動に携わってみたいが、どのように関わっていったら良いかわからない。自分のスキルで出来る事で人助けをしたい。もういい年なので。

・地域の清掃活動や安全パトロールにはいつでも参加出来ますが、参加の仕方が分かりません。

・時間があれば協力したい。仙台市で行っている活動内容がよくわからない。　Ex. 活動団体等

・最近迄、会社と自宅を往復するのみで市民活動に目を向ける余裕すら無い生活で本紙にいう〇〇条例については全く初めてきく用語であった。恥ずかしい。これからは市民活動等に関心をもつようにし、私たちのまちを良くすることを考えていきたい。まずは関連する情報の収集に努めたい。

・情報の共有が大切だと思うが、なかなかそれに至っていないと思う。

・市民活動やまちづくりについて自分のまわりでは積極的に参加している人は少ないと思います。生活に忙しく時間も限られている中で、活動すると、自分やまち、団体にどんなよいことがあるか広報してもらうと垣根が低くなると思いました。

・仕事が忙しく、市民活動に参加したい！と思っていても、なかなか出来ないのが現状。どのような市民活動があるのか、アナウンスがあると、興味、関心を持って考えるチャンスになると思う。それが「協働によるまちづくり」につながっていくと思う。何か手助け出来るものがあれば参加してみたい。自分のスキル等を生かして…

・人口減少の今、小学生高学年から若い人達（学生）も参加させて広く皆んな参加との形をとって気楽に取り組める様にもっと宣伝してもらいたい。

・若い人や子育てしている人も参加しやすいようにして欲しい。1 度ボランティアに参加しましたが高齢者ばかりの参加でやりずらかったし、もう参加したくなくなりました。色んな年齢層が参加しやすいようにして欲しいです。多くの若者は高齢者しかいないところには行かないと思います。色んな年齢層にするのが難しいのならば、若者だけや子育て世代だけの参加のボランティアなどがあると人が集まりやすいと思います。

・もっと、低年齢層、高齢者、障害者、様々な状況で暮らしている市民が、気軽に安易に参加出来る仕組みを作って欲しい。特に、障害者とかは市内で開かれるイベントには、歩行困難とかで参加出来ない。

・体験会などの催しがあると、市民活動に参加しやすくなるのでは？

・他都市からの移住者　学生も含め参加出来る会議を広く呼びかけ、楽しめる機会を作る。

・単身世帯の増加や、リタイアしていない高齢者の増加などで、労働時間との兼ね合いで参加が難しい人が多いと感じる。会議には参加しないが活動には参加してもいい、会議の様子を動画

再生して確認できる、など、時間の柔軟性が欲しい。

・特定の人の意見が反映されていることが多いと思うので、もっと気軽にメリットがある取り組み方ができるようにしてほしい。

・シニアになっても、町内会のイベントやコミュにてーセンターでのボランティアなど、身近なところで活動できることはあります。「一緒にやってみませんか」などのポスターを見たことがありますが、そのような呼びかけがハードルを低くしてくれると思います。

・市民活動をしたいと思っていても、きっかけがなかったりする。

・（私は）若者とちがい体力的に活動が制限されますが、老いても元気な方がたくさんいらっしゃいます。小さな事、限定地域でも、地道に若い方と一緒や老々同志でも、何かの役に立つイベント、行事、仕事など、ボランティアで短時間でも良いので参加できるのがあればと思います。又、若い方と一緒にできれば、将来的に学ぶことも多くなると思います。落葉はき、ゴミ拾い、児童の見守り、公園の整備、地域のパトロール、街中の点検、草刈り、など地道に取り組める様なのも多くあります。

・町内会の活動が活発だと、子育て世代にも高齢者にも安心安全なまちづくりになると思います。その為にも、多様な主体との協働は市民にとってもとてもありがたい取り組みだと感じています。しかし、若い人達は子育てや仕事で忙しく、高齢の方々に役員や活動をおまかせしている現状です。それぞれがもっと気楽に参加できる活動が出来ると良いなと思います。

・以前ボランティア活動の情報を得るため、仙台市内でボランティアを募集している団体窓口を探すのにひと苦労であった経験があります。地域の社協へたどり着き、現在募集しているボランティア情報をようやく得ることができました。その後、児童館でのボランティア体験できたのですが、受け入れ側の熱量が低く一度限りの参加となってしまいました。その際の経験から感じたこととして、情報発信力の低さや、気軽に相談できる場所のなさを感じ、なかなかボランティアは行えないなと感じました。3 年前のことです。現在は改善されているかもしれません。

・公的貢献者には何らかのインセンティブがあると協力する人が増加する。

・少子高齢化が進む中で、若者と中高齢層の活用を図るためにインセンティブが必要と思う。

・ボランティアの方に対して何かしらの報酬があると良い。年齢が高い人達は固定観念を持たずに若者の意見を一旦聞くと良い。

・市民活動に参加する方が極端に少ない時代状況です。　若い方の無関心、興味がない、自分の特にならない事はしない、結果：自分の快楽だけに関心があり、それ以外は関心がないことで、市民活動に参加しない方が多い。（これは高齢者も同じ）、従って、町内会などのボランティア活動には、ほとんどの方は無関心です。従って、活動する方にはボランティアではなく、ある程度の報酬を支払うことで、仕事として活動して頂くことが重要であると思います。

・人はタダ（無報酬）では動きにくいと思うので、協働してもらうための〝エサ〟は必要だと思う。

・認知症の夫を介護しています。できるかぎり夫をイベントに参加するようにしています。テレビや市政だよりからイベント情報を得ています。

・市民活動とはどのようなものなのかイマイチ理解できておらず、また活動しようと能動的に考えたことがなかった。ボランティアだったりなのは重々承知の上だが、何らかのメリットを感じないと活動に対して消極的になってしまう人も多いと思う。金銭だけではなく情報の交換だったり交流を広げる場であったり何らかの魅力を感じさせて若い人も参加するようにしていければいいのではないかと感じた。

・「協働によるまちづくり」と言われても、どこに情報があるかのよくわからないので答えようがないです。

②団体での活動についてのご意見（22 件）

・町内会活動に参加したことがあるが、役員の成り手がなく大変苦労した。また、高齢化はその活動でも顕著で考え方や取り組む姿勢など世代間ギャップは否めないと感じた。ただ違いがあることは悪いことばかりとも思わないので、そういったケースにどう対応すればいいか、学ぶチャンスがあればいいのではないか。

・私はある時年配（70-80 代の方）にこの様な事をお聴きした事があります。この方は仙台中心部（青葉区）の方でした。町内会の活動をするのは、昔から住んでいる人、その方々より後から引っ越して来た方、区別されている傾向があると。何かそれをきいた時（ちなみに私は他から引っ越してきて数十年になりますが）今後町内会をつくり変えていく事に難しさを覚えました。

・それぞれの立場や年代があり、いろいろな考えを持っているこの時代、まとめようとすればするほど、みんなが離れていくような気がします。何かひとつだけの共通点だけで集まるとか、企画の良し悪しが活動の手がかりになるのではないでしょうか。具体的には、子育て世代のママだけを託児付きで集めてコンサートをするとか。思い切りストレスハッサンしてもらった先にいい意見が生まれるかもなあと思ったりします。

・興味がある事柄について協力したいと思って集まってきているので、その気持ちを大切にして活動していけたらと思う。強制的になったり義務的になってしまうと離れて行ってしまうので自由に伸び伸びと活動して行きたい。

・主導してくれる人がいないとまとまらないが、あまりに固定されてしまうと新たな人が入りにくい時があると思う。シングルで一人で子育てをしていると、子どもの為にも色々な活動に参加したいと思っても、なかなか費用も時間もかけられない為、参加できずに終わる。

・どうしても効率より、ずっと同じことをする方が普通になっている。同じ人が役員を続けているからなにも変わらないのが現状。町内会のシステムは結局年配者の生存確認のために必要だと思う。

・町内会が昔からのやり方をからアップデートされないので、今の働いている世代は忙しくてなかなか参加できないと思う。

・現在、特に町内会に入らない・役員をやらない人がサービスのみ利用する等、不公平に感じることが多々あります。難しい問題ではありますが、不公平感を無くす取り組みを検討いただきたいです。

・町内会の役員を、度々経験しましたが、協力的な方と非協力的な方が居て非常に運営がむずかしいと感じました。市の担当者などのコーディネートがあれば良いと思います。

・例えば町内会の場合、役員は退職後のご老人のみ。その中に若い人はなかなか入りにくい。働いている世代でも負担なく協力できるような町内会のあり方を市の方からも町内会等に提案していただきたいです。

・高齢化により町内会の活動ができない世帯が増えており、現役世代の負担が増加している。班長になると担当地区の市政だより配布、募金の集金、高齢者の安否確認、公園の除草、ゴミ収集所の掃除当番等々があるので町内会を脱退したい。

・①町内会活動に参加する人が、老人の人が多く、逆に若者が少ないと感じます。②地域的に見て、近所と付き合う機会が少ないと感じられます。私は、挨拶をお互いにすることだけでも必要と感じ、出来るだけ今後も実践したいと思います。③町内会の存在価値は、あまりわかりませんが、各地区ごとにゴミステーションが整備されていることは存在感を感じます。

・地域団体（町内会）は市の下請をしているような一面もあり、会員は高齢化しており退会希望の方もいます。町内会がなくても不便ない市政を望みます。

・地域の子ども会に属して役員なども何度か引き受けました。コロナ禍もあり、消極的な活動となっていたのを、以前を知らない若い世帯に世代交代となるにあたり、消極的なままになっていくのかなと、寂しく見守っています。地域の町内会の一員として、未来ある子どもたちのためになる活動は続けていって欲しいなと思います。

・年配のかたが、若者の考え方等を否定するだけでなく！耳を傾ける姿勢があると若者も色々なイベントなどに協力しよう！となる気がします。

・役員をしたことがあるが、若い世代と年配の方々の世代との間の意見の相違に対応することに苦慮した。年配者は、活動内容について、自分達がやってきた同様の内容を若い世代にも求める傾向があり、効率化や時代にあった方法に変えようとすることに抵抗するため、しばしば世代間で摩擦が生じていた。高圧的な物言いの方もおり、役員をやることに消極的になってしまった。

・なるたけ若い人材をとり入れて行きたいと思います。

・私のかかわっている団体（グループ）は、高齢の方が多く、グループ活性化のためにも、若い人のエネルギッシュな力がほしいです。（世代交替も課題となっています）

・問 18 にもありましたが若者の参加が非常に重要だと思います。活動に若者の視点が取り込まれることによって、活動の巾が非常に拡がると思います。

・活動をしていると、運営者の高齢など若い人が入ってこないので、大変苦労があるように思われます。どのようにしたら、若い人の興味をひくか、が課題だと思います。学生さんなど、はやいうちに町内会への参加など PR をと思います。（体振活動など）

・会合とかいろいろの活動において知り合い又親しい人の集団にならないように。特に地方の場合はなりがちです。リーダーしだいと思いますが。

・団体行動では、常に個性のぶつかり合いとなるので落とし所を示してくれる方策を期待します。

③団体同士の連携・協力についてのご意見（5 件）

・地域や学校、団体が一緒に活動をする事で交流が生まれ、より良い街づくりができると思います。しかし、それぞれの組織が忙しかったり負担が増えるなどで運営が難しいところもあるかと思います。時間の拘束が短く、参加しやすい形の取り組みを考えていけば続けやすいのかもしれません。どうしてもこういった活動は高齢の方たちが中心になる事が多いと思うのでこれからは若者たちが積極的に参加できる活動も増えていけば良いなと思います。

・みんなが縦にも横にもつながって双方向に意見交換できるツールや機会が増えることを願っています。

・町内会、各種サークル団体、自治体、学校など垣根を越えた横同士の連携を巻き込むことが必須となってきている。世代を問わず、現役世代の知識を生かさせる方法手段も検討する必要がある。

・「協働によるまちづくり」方針には大賛成です。地域にもいろいろな方々がくらしています。関係するみなさんの力を結集して、方向性や結論が出て、形になっていく。多いに期待いたします。地域連携は大切だと思います。

・ベテランの方と、若い人の協働活動できる体制が、活性化につながると思います。

④若者によるまちづくりについてのご意見（6 件）

・高齢者が増えていくことがわかっている中、若者が主体的な仙台になることで、高齢者も共に元気に過ごすことができるのではと思います

・町内会も高齢化が進み、行事も簡素化、なくす方向になっていますが、若者が子育てしやすい町や市になる為に、若者が提案できる場所、イベントが増えると良いと思います。

・市民活動は、人と人とのつながりにより、中心街を含めまち全体の活性化に結びつく。特に必要な点は、若い人々の協働しろが大切で、各種イベント等でも若者の協力出来る可能性を高めることが求められます。地方におけるまちの活性化は、各地区を含めた市民による活動が重要であり、そのための行政からの充分な働きかけが大切と考えられます。同時にまた、参加員においても長期化することがないよう、回転しやすくする方が、より良い方向に生まれ変わります。

・若者が気楽に参加できる施策がもっとできれば良い様な気がする。

・地域の若者に地域の課題を積極的にお知らせする押し活的な場があったらよいと思います。

・学生の多い仙台ですから、若者たちを取りこめば、おもしろい化学反応が起こるのでは？と思います。ただ持続しないと「はい、これやりました。終わりました」でブツ切りになるのはもったいない。うまくコーディネートしてくださる方が必要と考えます。ここは、ネームバリューだけではなく、「プラス力のある人」のセレクトが重要。

⑤市民活動や協働についてのご意見（30 件）

・市民活動に熱がある地域と、そうでない地域の差が大きく感じている。市民協働推進課の資料にあるような支援活動や交流活動は立派で活発で素敵とは思うが、ああいった活動ができるのは市民活動では無くそれを仕事にしている人じゃないのかしら…と思った。営利を目的ではなく、時間を割いて活動できる人は少ないのでは…時代的にも。高齢者が本当に増えてきているので、負担が少なく、面倒に感じるような手続きの多い活動は無くして、ただ地域の横のつながりを絶やさないコミュニティ作りからではないかと思う。情報が届かない地域も多い。

・「市民活動」ときいて、具体的なイメージがわきませんでした。市民活動をしている市民はごくわずかなのではないでしょうか。今よりも気軽にできる方法があれば、私も参加してみたいです。生協、イオンなどとの連携があれば、情報を知れたり、買い物ついでに参加しやすそうです。

・世代を超えて助け合うことが大切なのはわかっているのですが、なかなか仲間に入りづらいのが現状なのでしょうか。私はシニア大学や仙台傾聴の会のセミナーなどにできるだけ参加して、まずは小さいけれども、人と人とのつながりが大切であることをとても実感しています。じわじわでも広げるには個人の意識が変わらないと難しいのでしょうか？人とのつながりは小さくても力になり、元気になれるはずなのですけれど・・・

・学がないので個人的な意見になりますが、「協働による」という表現が難しく、伝わりにくく感じます。町内会活動や市民活動全般に言えることと思いますが、核家族や定年延長の影響で、現役世代が活動に参加する余裕がなく、役員の高齢化が進んでいるように感じます。私も市民活動の団体に所属していますが、仕事や家庭の事情で何年も幽霊会員です。私の場合は、心身や時間、経済の余裕がないと市民活動はできないのだと思っています。

・仙台市は市民協働を唱っており、団体としては取り組みやすい（例：サポセンの使用料やアドバイス）一方、市民と行政が一緒になって新しいものに取り組むつまり「市民共創」という考え方がないと感じている。市民と行政がテーマを絞ってフリーにディスカションする取り組みが必要ではないか。まち局が取り組んでいるがあれでは時間がなさ過ぎる。例えば、マイナンバーカードの活用について市民とフリーにディスカッションする取り組みが出来ないか。

・町内会や、連合町内会という団体の活動は、災害時などの時に助け合い出来る程度で昔のように色々な行事をやる必要は感じない。若者も含め、面倒くさいと考える中年世代も増えてきている。市民活動によるボランティアは考え方が類似している人の集まりなので、資金援助などしてどんどん活躍してもらって良いと思う。地域の方々に中学校の部活動の指導については、公平な目で見れて指導できているとあまり思えない。部活動指導は、ある程度経験値の高い人があまり自分の住んでいない地域でやるべきだと考える。

・町内会役員をしているときには「交流」を感じたが、役員をやめてからはほとんどそのような機会に合うことがない。役員同士の交流はあるようだが、末端まで巻きこむような全体的動きを感じることがない。「協働による街づくり」の専用 HP 作成して広報してはどうでしょうか。

・毎年「市が主催し、発表会」を開催してはどうでしょうか。個人、団体対象として、年度初めに市がテーマを決め、年末に発表会を実施する。その様子を市の広報、メディア等を駆使し、市民への啓蒙、意識改革につなげる。

・会合場所の確保は各団体で可能かと思われるが、行政の協力やコラボがあれば、なおバージョ

ンアップするような気がする。

・何が課題となっていて、どんなプロジェクトが今取り組まれているのかということについて、「市政だより」や「地元新聞」などで情報提供されると理解が進むと思う。協働する団体と「各区役所まちづくり推進課」「各市民センター」が連携してバックアップ体制を整えることにより、地域に波及していくものと思われる。

・私は、ラインで仙台市の発信する情報をみることが多いです。これからは、ラインやインスタの比重を多くするのもありだと思います。協働については、どうしたらいいのかわからない団体も多いと思うので、仙台市から募集という形でなげかけてもらうといいかなあと思います。

・高齢者と若者が対立する場面が多いように感じます。お互いの立場を理解し、認め合うことが足りていないと考えますので、協働する中で理解し合う機会が増えると良いと思います。

・若い人の力を大切に、後の世に。

・地域の学校を核とした取り組みが大切だと思う。

・多くの市民活動・ボランティア団体が高齢化・後継者不足で困っている。若者がもっと参加しやすいような行政面等での支援をお願いたい。例えば，数多くいる大学・専門学校の学生が参加しやすくなるように，履修単位面でメリットがあるような仕組みを学校側にお願いするとか。

・マンション住まいです。自治会には強制加入で会費が回収されていますし、掲示板に活動内容や参加を求める案内もあり、たまに目にしますが、誰が参加しているか、誰対象か全くわからず、参加できません。転勤族なのでいろんな街で自治会に加入し、地域の方々とも関わってきた経験がありますが、おそらくですが、今住んでいる地域は、定住でなく一時的に住んでいる方が多くいらっしゃるのでは。あまり地域に愛着がなく、社会との関わりを積極的に求めていないようにも感じます。外国人も多いのでその方達の理解や交流の場があってもいいのになとは思います。全く関りがないので、集団でいらっしゃると少し怖いですし、知らないので関わろうとしたくない雰囲気が自分にも地域にあるのでは。

・ここ数年の仙台は、都会化してきているのか、他人に対しても無関心で、地域に愛着をもっていない人が益々増えているように感じる。それでも、他県からの転勤者などからは、仙台は程よい都会感で住みやすいと言われることも多く、海あり山あり美味しい食べ物も豊富な、適度な都会感も含めて、この資源を生かし、皆んなで造る街であることを、確認すべく、情報発信し続ける事が大事だと思う。

・最も重要なのは市民個々が市 or 地域に愛着と責任の自覚があることかもしれないと思いました。永住するしないにかかわらずそこに住んでいるかぎりは。よそから転勤で引っこしてきた人たちがベガルタやイーグルスを応援する。そんなことでもその一環であると思います。有難いことです。

・地方におけるまちの活性化は、各地区を含めた市民による活動が重要であり、そのための行政からの充分な働きかけが大切と考えられます。

・「社会・地域が抱える課題の解決やまちの魅力向上・地域の幸福度向上」を市民活動に頼らず、行政の仕事としてしっかり行ってほしい。

・仙台市に市民局市民協働推進課があることを今回初めて知りました。まずは、周知徹底と市民

協働推進課の活発な活動に期待します。

・地域の安全パトロールは大変重要ではないかと思う。地域の実態を把握するためにも欠かせない。ボランティアに頼よるだけでなく費用面等の積極的援助が必要と思う。

・市役所や区役所、市民センター等の敷居が高すぎる感じがするので、だれでも気軽に集える環境づくりを目指したい。

・魅力的なイベントを開催する。

・小さな子どもがいるので、子どもが安全安心に暮らせる街づくりのための市民活動や情報交換の場を、イベント等を通して活性化していけたら良いのにと思います。

・先ずは、近所同士の交流を高め、その中からあらゆる情報を共有し輪を広めていくことが大切と思います。

・生活全ての値上がりで、生活のために働かなければならない人が多くいます。ボランティア、地域活動も大事ですが、生活に余裕が出来てからなるのではないでしょうか？

・SNS が（あまり）利用できないお年寄りが、世間から取り残されているような気がする。すると、お年寄りだけの団体になってしまったりするので、”協働”になりにくくなると思う。お年寄りがもっと SNS を利用するようにしなければならないと思う。なぜならば、もっと色々な世界があることを知って欲しいからです。

・困っている人がいたら解決してくれる人が身近にいる「まちづくり」が進みますように。

・市民活動が具体的にどんなことを何を指すのかいまいちわかりませんでした。

⑥その他のご意見（19 件）

・皆んなで綺麗で清潔な町づくりを沢山の人が年に一度でも　好きな時に参加するイベント等企画されても良い。

・色々大変な時代において、楽しいイベントや安心出来る居場所の必要性を感じています。誰でも気軽に参加出来ることが大切に思います。是非、活気ある仙台市にと願います。

・1 人でも気楽に参加できる高年齢のつどい・・・？？？教室のような・・・

・約 15 年前、単身赴任先から仙台に帰ってきました。当時から町内会の役員の成り手不足が問題化しておりました。その一つの解決策として町内会の会合に積極的に参加する様にしました。当時、仙台ハーフマラソンのボランティアはスポーツ団体のみが参画しておりましたので、個人でも参加できる様提案し 2～3 年後に個人でも参加できる様になりました。当時のご担当者の方（名前は伏せますが、現在は出世しているとか）ありがとうございました。

・若者層が過度に SNS の情報を鵜呑みにしないように行政が何らかの対応が必要と思う。

・町内会や地域団体の高齢化がすすんでいるが、若い世代への交替ができない現状。要因の１つは行政からの支援をあてにした一部高齢役員の既得権化です。行政として毎年、費用対効果を検証し、当該団体活動への支援、共賛のあり方を見直すことも必要です。活動成果が期待できない団体は共賛や支援を打ち切り、新たな団体への切り替えを大担にすすめるべきです。仙台

市人口が中長期的に大幅に減少していく中で、支出の効率的な活用（選択と集中）を積極的に推進して頂きたい。

・光のページェントが縮小されて行くのがとても残念。市内企業への募金を募る事や、定禅寺通りの落ち葉清掃を地域の皆で行うなどして街全体で守って行きたいイベントです。

・市民の声として１人１人の意見を新聞にけいさいしてほしい。

・仙台市は政令指定都市ですが、人口増加も緩やかになり、子育て世代は支援が豊富な近隣の市町に流出しているようにも感じております。様々なサービスがありますが、物価高騰が止まらない昨今においては、はっきりとした子育て世代の支援が必要だと思います。国の制度もありますが、働いて収入があると支払う税金が高く、補助は少ないため、生活が困窮している状況になります。納税はもちろん義務ですので、仕方ないことですが、子育て世帯にはもう少し手厚い支援をお願いいたします。そして支援を受ける子どもたちは、地域の清掃活動などに必ず参加できるよう、長期休みを数日活用できるシステムを作ると良いのではないかと思います。

・地下鉄南北線の延伸が仙台市の中核都市としての責務と考えております。市長の将来構想を伺いたいと考えております。

・行政各部署へのへのメールによる意見や問い合わせに対し、長期間放置せず必ず着信確認の返信を速やかに頂きたい。

・まだ、一部職員だと思いますが、上から目線で業務を遂行しようとする人がいる気がします。一緒になって町、街づくりをしたい気持ちになれないケースもあります。

・数年前の「定禅寺通り活性化協議会」の始まりが唐突で、言い出しっぺが不動産屋や水商売屋だったことが記憶に新しい。ずっとひきずっている。「街つくり」は、儲け第一しか頭にない輩のために、政府、行政がお先棒を担ぐということだろう。そこに暮らし、何も儲けを産まない一般住人がなにか行政に要望しても、ほとんど没。恣意的に道路を格付けし、いつまでたっても舗装してくれない。穴だらけで雨後の泥水を跳ね散らす酷い「街つくり」。絶望。あきれる。

・山形や福島に比べて、無料の子供の遊び場がない。また、山形の遊び場は、山形市の LINE から予約をするので、山形市の緊急安全性情報などの情報が通知される。私は生まれも育ちも仙台なのに、仙台の登録は何も行っておらず、山形の登録を行っています。運営や情報発信の方法を検討したり、遊び場や土地の活用などを、民間にも公募によりどんどん頼って、民間のアイディアを織り交ぜながら福島の開成山などのように、近隣の県のような発展をしていけたら良いのではと思います。より人気の街になれば、自然と若い世代の方も増えて地域が活性化すると思います。我が子供会は、5 世帯しか子供がいる家庭がなく、毎年全員役員で、共働きの中、子供会の運営は負担が大きすぎるため、どんどん退会希望者も出ています。高齢化で空家も増えて来て、治安も不安になるので、若い世代も増えることでうまい土地の活用ができたらと思います。

・家族や子持ちに関する行事やイベントが多い気がするが、独身者もきちんと税金を納めているし、むしろ 40 代でも 50 代でも、独身者に何かしらの恩恵があってもいいと思う。

・行政（もちろん仙台市のです！）は地域頼みで手を抜きすぎです！何のために他市町村よりも高い税金を払わされているのか非常に不満です。特に「杜の都仙台」とは名ばかりで、市の管轄である公園、緑道（歩道）調整地など、ほとんど町内会任せのような気がしてなりません。

町内会がボランティアでせっせとやってそのあと市がちょこっとやっているようにしか見えません。高齢化している町内会の一員として、心配でなりません。この頃の仙台市の税金の使い方が非常にまちがっていると思います。市民の幸せ、喜び、暮らし易さには目も向けず、いかにしたら仙台に人を呼びこむか。観光客を増やす事や、国際会議等招致するかということにだけ税金を多く使っているように思います。スケートリンクをつくることも今の仙台にとってはぜいたくなことだと思います。市民が、仙台に生まれて良かった！仙台市に来て良かった！と思えるようなそのためには、地に足つけて身近なことに（一般市民が幸せに暮らせるような）税金を有益に使って欲しいものです。良い街になれば、県外からも外国からも自然と人が集まって来るでしょう。山形県のように！少なくとも数十年前、大学進学のために仙台に住み始めた頃は「杜の都仙台」「健康都市仙台」「敬老乗車証」無料で上限なし等、胸を張って誇れるものがありました。仙台に住んで良かったとの思いが強くありましたが、今は正直、名前ばかりで誇れるものなどひとつもなく淋しい限りです。

・積極性が必要で前向きである事を期待したい！

・伝統芸能等、若い人達に宣伝する事が良い。

・いま、何をどうしているのか、それに伴う地域が県・市・区がどの様にかかわっているのか。又、対象は誰なのか！

＜ 参 考 資 料 ＞

市民活動や協働によるまちづくりに関する意識調査

調査票

あなたのモニター番号を記載してください

【必須】

はじめに、あなた自身のことについてお伺いします

問１　あなたの性別を教えてください。（○は１つ）
※現在の社会生活上の性別を教えてください。

１　男　　２　女　　３　回答しない

問２　あなたの年齢を教えてください。（○は１つ）

１　19 歳以下　　２　20～29 歳　　３　30～39 歳
４　40～49 歳　　５　50～59 歳　　６　60～69 歳
７　70～79 歳　　８　80 歳以上

問３　あなたのお住まいの区を教えてください。（○は１つ）

１　青葉区　　２　宮城野区　　３　若林区
４　太白区　　５　泉区

問４　あなたの職業を教えてください。（○は１つ）

１　会社員、団体職員等　　２　自営業（家族従業の方を含む）
３　パート、アルバイト、非常勤等　　４　学生
５　家事専業　　６　無職
７　その他（　　）

市民活動についてお伺いします

市民活動とは「市民が自主的、自発的に行う営利を目的としない活動であって、公共の利益の増進に資するもの」を指します。（仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例第２条第１項）

このアンケートでは、社会や地域をよりよくするために、社会・地域が抱える課題の解決やまちの魅力向上・地域の幸福度向上などに取り組む活動を指します。

＜市民活動の例の一部＞

子ども食堂やフリースクールなどのボランティア

地域イベント運営

介護予防支援活動

障害者支援活動

国際交流活動

保護猫活動

ＬＧＢＴＱ支援活動

ＳＤＧｓ勉強会に参加

農業支援活動

地域清掃活動

地域安全パトロール

伝統芸能の継承

施設への慰問活動

コミュニティカフェや
交流イベントの運営・参加

SNS で地域の魅力などを発信

あなた個人と市民活動との関わり（市民活動や、町内会などの地域活動に取り組む団体のメンバーや役員としての関わりを除く）についてお尋ねします。

問５　あなたは、個人として、次のような形で市民活動に関わった経験がありますか。（〇は複数可）

１　ボランティアとしての参加
２　自分の持つ知識やスキルを活かした活動支援
３　勉強会や意見交換の場への参加
４　寄付やクラウドファンディング
５　SNS やブログなどでの情報発信
６　関心のあるテーマのイベントへの参加
７　関わった経験がない
８　その他（　　）

問６　あなたは、個人として、今後、市民活動にどのような形であれば関わりたいと思いますか。（〇は複数可）

１　ボランティアとしての参加
２　自分の持つ知識やスキルを活かした活動支援
３　勉強会や意見交換の場への参加
４　寄付やクラウドファンディング
５　SNS やブログなどでの情報発信
６　関心のあるテーマのイベントへの参加
７　関わりたいと思わない → 問７ へ
８　その他（　　）

問７　問６で「７」を選択した方に伺います。

あなたが、個人として、市民活動に関わりたいと思わない理由は何ですか。（〇は複数可）

１　日常生活で市民活動に触れる機会がない
２　社会や地域の状況に不満を感じていない
３　知らない人たちと関わることに不安がある
４　自分が関わるメリットやリターン、必要性を感じない
５　過去に活動に参加して失望したり、嫌な経験をしたことがある
６　その他（　　）

市民活動や、町内会などの地域活動に取り組む団体（以下、団体という）のメンバーや役員としての関わりについてお尋ねします。

問８　あなたは、メンバーや役員として運営に関わった経験がありますか。
複数の団体に所属している場合は、主に関わっている団体についてお答えください。（○は１つ）

１　関わった経験があり、今後も関わりたいと思っている → 問９ へ
２　関わった経験はないが、今後は関わりたいと思っている → 問９ へ
３　関わった経験はあるが、今後は関わりたいと思わない → 問 10 へ
４　関わった経験がなく、今後も関わりたいと思わない → 問 10 へ

問９　問８で「１」「２」を選択した方に伺います。
あなたが、メンバーや役員として運営に関わりたい（今後は関わりたい）と思っている理由は何ですか。（○は複数可）

１　団体の運営に興味があるため
２　自分の経験や能力を生かせるため
３　人的ネットワークを広げるため
４　団体のメンバーから誘われた、もしくは誘われているため
５　その他（　　）

問 10　あなたは、本市のまちづくりにとって、市民活動や地域活動の果たす役割は重要だと思いますか。（○は１つ）

１　そう思う
２　どちらかと言えばそう思う
３　どちらでもない・わからない
４　どちらかと言えばそう思わない
５　そう思わない

問 11 メンバーや役員として運営に関わる人を増やすために必要なことは何だと思いますか。（○は３つまで）

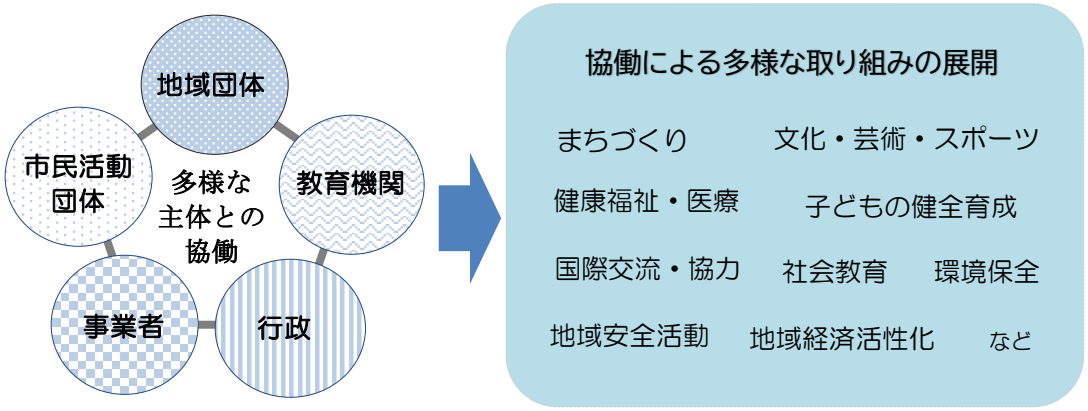
1　活動の拘束時間が短いこと
2　活動の事務負担が少ないこと
3　活動に参加する人が限られていないこと
4　人材面で活動の維持継続がされていること
5　資金面で活動の維持継続がされていること
6　社会的な理解や評価がされていること
7　行政の理解や支援があること
8　活動に必要な場所があること
9　活動に関する情報があること
10　わからない
11　その他（　　）

団体同士の協働についてお伺いします

協働によるまちづくりとは「まちをより良くするために、複数の団体が目的を共有し、役割分担して一つの事業（プロジェクト）を進めること」を言います。いくつかの団体が連携し、お互いの特性や得意分野を生かし、不足する部分を補い協力しあうことで、一つの団体ではできなかったことができるようになったり、個別に取り組むよりも大きな効果を生み出すことが期待できます。

また、それぞれの主体において、メンバーの意識改革や業務改善といった効果が考えられるほか、この効果が各主体の枠を超え、社会に広く波及することも期待されます。

〇協働のイメージ図



問 12　あなたが所属している団体（地域団体や市民活動団体、学校、企業）は、他の団体や行政等と連携・協力して取り組んだ経験がありますか。
複数の団体に所属している場合は、主に関わっている団体での取り組みについてお答えください。（○は１つ）

1　取り組んだ経験があり、今後も取り組みたいと思っている → 問 13 へ
2　取り組んだ経験はないが、今後は取り組みたいと思っている → 問 13 へ
3　取り組んだ経験はあるが、今後は取り組みたいと思わない → 問 14 へ
4　取り組んだ経験がなく、今後も取り組みたいと思わない → 問 14 へ
5　団体に所属していない → 問 14 へ

問 13　問 12 で「１」「２」を選択した方に伺います。
あなたが所属している団体が、他の団体と協働して取り組みたい（今後は取り組みたい）と思っている理由は何ですか。（○は複数可）

1　新しい知識や技術を取り入れるため
2　新しい経験などを取り入れ人材面を強化するため
3　資金不足を補うため
4　広報・ＰＲ強化のため
5　団体間のネットワークを広げるため
6　事業継承・世代交代のため
7　協働相手先から誘われた、もしくは誘われているため
8　その他（　　）

問 14　あなたは、本市のまちづくりにとって、地域団体（町内会等）や市民活動団体、学校、企業、行政等が連携・協力して取り組むことは重要だと思いますか。（○は１つ）

1　そう思う
2　どちらかと言えばそう思う
3　どちらでもない・わからない
4　どちらかと言えばそう思わない
5　そう思わない

問 15　地域の課題解決のため、地域団体や市民活動団体、学校、企業、行政等が連携・協力して活動していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）

1　地域の課題に関する情報の提供
2　地域の課題について意見交換ができる機会づくり
3　様々な団体に関する情報の提供
4　様々な団体が連携・協力して活動している事例に関する情報の提供
5　様々な団体同士が交流できる機会づくり
6　それぞれの団体における人材確保・人材育成
7　様々な団体同士をコーディネートする機関等があること
8　様々な団体が連携・協力して活動する際の資金的な援助
9　ない・わからない
10　その他（　　）

ふだん利用している情報媒体についてお伺いします

問 16　あなたは、情報収集のためにどのような媒体を使っていますか。
（〇は複数可）

1　新聞
2　雑誌
3　フリーペーパー
4　テレビ
5　ラジオ
6　ウェブサイト
7　メールマガジン
8　各種 SNS（Facebook、LINE、YouTube、X（旧 Twitter）、Instagram）
9　いずれも使っていない
10　その他（　　）

問 17　あなたは、仙台市の情報媒体の中で、どの媒体を使っていますか。（〇は複数可）

1　市政だより
2　市政ラジオ
3　仙台市ホームページ
4　仙台市メール配信サービス
5　仙台市の各種 SNS（Facebook、LINE、YouTube、X（旧 Twitter）、Instagram）
6　いずれも使っていない
7　その他（　　）

若者によるまちづくりについてお伺いします

問 18　あなたは、若者が市民活動団体や地域団体（町内会等）の活動に参加することで、どのような効果が生まれることを期待しますか。
なお、このアンケートでは、若者とは概ね 10 代後半から 30 代の方を指します。（〇は複数可）

1　若者と地域との交流が活発になること
2　地域活性化に若者の視点が取り込まれること
3　若者の能力向上に繋がること
4　地域に愛着を持つ若者が増えること
5　地域での活動の人手不足が解消されること
6　仙台のまち全体が活性化されること
7　若者が仙台に定住すること
8　仙台市の施策に若者の視点が取り込まれること
9　その他（　　）

その他のご意見、ご提案についてお伺いします

問 19　その他、仙台市の市民活動や「協働によるまちづくり」に関するご意見、ご提案がありましたらご記入ください。

調査は以上で終了です。ご協力いただきありがとうございました。

令和６年度「市民活動や協働による
まちづくりに関する意識調査」報告書

令和７年２月

仙台市市民局市民活躍推進部市民協働推進課
〒980-8671　仙台市青葉区国分町３丁目７－１
TEL　022-214-1089　　FAX　022-211-5986
E-mail　sim004100@city.sendai.jp